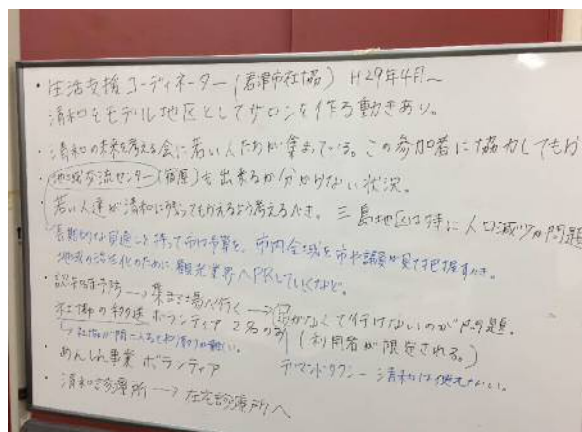


平成29年度 清和地区 地域ケア会議 報告書



平成29年9月1日（金）、11月17日（金）清和公民館にて、
「高齢者の集いの場（サロン）」「地域資源の整理（清和地区便利サービス一覧）」について意見交換を行いました。

内容

平成29年9月に実施した、1回目の地域ケア会議では、「地域で活動する各団体の連携」と「地域資源の整理」について各団体で意見交換を行いました。各団体が地域でどのような活動を行っており、協力できる事は何かを情報共有しました。また、ボランティアを含めた地域資源を一覧にし、支援者側が持つことで、活用できるのではないかという意見がでました。

2回目の地域ケア会議では、各団体が「高齢者の集いの場（サロン）」「地域資源の整理（清和地区便利サービス一覧）」について意見交換し、具体的な内容について話し合いました。

ご意見

○高齢者の集いの場（サロン）」について

- ・サロンの例として、すなみほっとサロン、里の家(君津市赤十字奉仕団)、清和地区社会福祉協議会のサロン、旅名地区のサロン、体操教室について概要を発表。公民館での多世代の交流の取り組みについても発表。
- ・話をする事が元気の素になる。話をする事、集まる事が第一。
- ・シニアクラブではゲートボールや、地域の芸能大会への参加などを行っているが、徐々に参加者が減っている。
- ・シニアクラブは組織がしっかりしているので、サロンなどの中心となっていく。
- ・集いの場は、送迎の心配が少ない自治会単位が良い。隣近所の関係、両隣や地区内で顔の見える関係性は既に出来ている。
- ・役職等に関わらず、リーダーとなる方がいると集まる場所を作りやすい。
- ・わざわざサロンを作るよりも、今ある体操教室の後に集うなど、今あるものを活用できると集う機会を増やせるし、スタッフも確保しやすいのではないか。

ご意見

- ・健康づくりや介護保険、福祉制度など、東部包括支援センターがサロンの場を利用して講座を開催できるとよい。
- ・制度の手続き、サービス等の使い方、窓口、どうしたら良いかの手順等も聞けると良い。
- ・情報の発信方法も検討する必要がある。

○「地域資源の整理（清和地区便利サービス一覧）」について

- ・配布する方は民生委員等を想定。
- ・コープみらい移動店舗は、安否確認にもなっている。
- ・社協の車いす貸出しも載せてはどうか。
- ・君津在宅診療所や、鴨川国保病院など往診してくれる病院を載せたほうがよいのではないか。
- ・成年後見制度の窓口も記載する。

○その他

- ・地域ケア会議の目的は何か。この地域では地域力があり、現状でも自助・共助は行っている。清和地区の大きな課題は、移送の問題であると明確に出ている。デマンドタクシーを清和地区にも走らせてほしい。現在走っているコミュニティバスを利用している人はほとんどいない。
- ・東部地域包括支援センターの担当地区にしても、上総地区だけでも3地区あり地域性の違いがある。一つの包括で網羅するのは大変ではないか。中学校区に1つはあるべきではないか。

まとめ

- 清和地区便利サービス一覧は、高齢者を支援する立場の方（民生委員、自治会長）へ配布し、掲載内容の周知を図る。
- 現在ある高齢者の集いの場を活用し、地域にサロン等を増やすことによって、移動手段を考えずに高齢者が集うことができるようになる。まず、自治会単位の体操教室の後にお茶をするなどの活動を地域に広げる。その集まりの中へ東部包括支援センターが出向き、出前講座を開催していく。

ご意見を参考にさせていただき、平成30年度の地域ケア会議を実施していきたいと思います。



君津市地域包括支援室
 TEL 0439-56-1732
 君津市久保 2-13-1
 君津市 保健福祉部
 高齢者支援課